

第4回 長浜市産業文化交流拠点整備推進会議 要点録

【日 時】平成29年3月24日(金) 午後3時00分～午後4時20分

【場 所】長浜市役所 1階 多目的ルーム1・2

【出席者】参加者 委員10人(敬称略)

大橋 松行	滋賀県立大学 教授
ウスビ サコ	京都精華大学 教授
平井 むつみ	滋賀文教短期大学 教授
伊吹 正弘	長浜商工会議所 副会頭
漣 泰寿	長浜地区地域づくり協議会 副会長
伊藤 雅明	長浜市社会福祉協議会 常務理事
磯崎 真一	長浜市文化芸術ユース会議 会長
大橋 優子	公募市民
北川 雅英	長浜市産業観光部長
米澤 辰雄	長浜市市民協働部長
市 8人	
江畑次長(市民協働部)	
中川副参事(建築住宅課)	
林副参事(建築住宅課)	
沢井技師(建築住宅課)	
中川技師(建築住宅課)	
下司副参事(生涯学習課兼産業文化交流拠点整備室)	
西田副参事(産業文化交流拠点整備室)	
高木主査(産業文化交流拠点整備室)	

設計業者(株式会社久米設計 鈴木副部長(統括) 櫻木上席主査(意匠))
(株式会社豊建築設計事務所 村田代表取締役 辻野設計室次長)
傍聴人 4人

【欠席者】

小西 光代	長浜市図書館協議会 委員
川村 美津子	公募市民

【内容】

1 開会

2 議事

(座長)

・それでは議事の「(1) 基本設計概要について」の説明をしてもらいます。

(文化福祉棟設計業者)

・今回は、今まで第3回目まで建物の平面の考え方、配置の考え方、外観の考え方、
外構の考え方、それぞれ説明をさせていただきまして皆様方からご意見をいただ

いたものを、私どもの設計業務につきまして基本設計をまとめるということがあり、今日はその基本設計がまとまりましてその概要版を配らせていただいたところでございます。今までのすり直しになりますけども、一つずつどのようなことを基本設計としてまとめたかを概要で説明をさせていただきます。

- 設計のコンセプトは、最初のころに説明させていただきましたが、私たちは喜びを見つけることができると居場所を作るということで、空間構成で「活動が主体、様々な居場所がボーダレスにつながる空間構成」とここに書いてあることに取り組んできました。また諸機能の配置の方針につきましても、「利用を活性化して活動や交流を最大限に引き出す四つの空間の連携」ということで、平面構成を作りました。また、動線計画の方針として「自由に移動して人と本の自由な移動と管理しやすさを両立する動線計画」ということで、ここに書いてある概念図を平面計画に溶け込むような形で今まで説明をさせてきていただいております。
- 基本的なコンセプトを基に配置計画、これもおさらいになりますけど最終的にこの位置に建物を計画したわけですが、1番として駅前通りと連続した配置計画を満たす前面広場。駅前通りと連続した緑地空間を生かす前面広場という計画にしております。そして北側の住居の生活環境に配慮しました駐車場の配置。更に今日また説明があると思いますけど、産業支援棟と一体となる建物の配置としております。
- 次に平面の計画です。詳細につきましては第3回の会議で説明をさせていただきました。それを焼き直した形になりますけども、要所としましては利用者の使い易さに配慮したユニバーサルデザイン。これは段差をなくす、そして皆様が使いやすいような、ユニバーサルデザインを取り入れた平面計画にしております。また、開館時間の違いに配慮したセキュリティラインということで図書館、そして公民館の活動、地域福祉の活動、それぞれが独立して運用ができる、また一緒にも運営できるようなセキュリティのラインを設定しています。さらに動線を集約した分かり易い構成ということで、基本的には図書館内に分かり易いような、1階というと南北の風除けに対して分かり易い構成をつくる。それから上の階に行ってもバランスの良い避難階段の配置をしながら開館の時間に配慮した管理ラインや動線を集約した分かり易い動線にしているところで平面計画をつくっています。
- 1階2階3階の構成につきましては第3回目に説明をさせていただいた内容になっております。
- 次に立面計画、外観の説明をさせていただきました。特にここでは産業支援棟とこのように軒を揃えまして一体感のある外観とするということ。そして2番目に伊吹山の山系や琵琶湖のさざ波をイメージした外観にするということで、こちらの凹凸のあるような外観。そして屋根ですね、に特徴を持たせたような外観にしているということがあります。更に外観と合わせて、3番目に居場所をつくる多様な外壁の形状ということを考えております。それぞれ、出こみへこみがある建物の外観に対して、そこがここのエリアではハイカウンターになったりベンチになったりですね、そんなようなことを考えて建物の外観をつくることにしていま

す。

- ・ここからは前回まではお話がなかった内容になります。ハードの部分になりますけども、構造の計画です。構造の計画では、まず耐震性能、ここでは建築基準法で求められている建物の耐力の 1.25 倍以上の強度を有する建物としています。そして建物の基礎ですね。地盤のことを考慮しまして、杭基礎を採用します。更に液状化に対応した計画を杭で行います。また、建物の構造なんですけども基本的には高いフレキシビリティを確保する。長いスパンですね。要は内部にあまり柱が落ちてこないような計画にして内部計画がフレキシブルに対応できるように計画をする鉄骨の純ラーメン構造とします。基本的には鉄骨造。一部こちらに書いてあるプレキャストである RC で作ってありますけども、基本的には鉄骨造。今お話ししました南西部につきましてはプレキャストの RC にしておりまして、これを意匠上の壁と構造の壁と併用した特徴のある構造形式としております。
- ・次に設備計画ですね。こちらについては電気と機械と 2 つありますけども、最初に電気設備。こちら照明器具ですね。こちらは省電力な LED の照明を採用していきます。そして、各種センサー。これは人感センサーとか昼光センサー、人を感知したり光を感知したりすることで点滅を区分してですね、要は消し忘れとかオーバーになっている照明をしないような形で電灯を制御して省エネルギーに配慮するような計画にしております。
- ・また、屋上には太陽光発電設備を設置するような形になっております。
- ・あと、機械設備のほう、要は空調につきましては、熱源は図書館、それから公民館ですね、時間的に使ったり使わなかったり、またはずっと使ったりということがあるのでそれぞれ電気とガス両方を使うような形で適材適所、空間と使い勝手によって電気の熱源を使ったりガスの熱源を使ったりするような、ここに書いてあるようなベストミックスの手法を採用しております。ですから電気だけガスだけじゃなくてそれぞれの部屋の特徴に応じた空調にしていくということをしております。
- ・また、天井が高い図書館エリアなんですけどもこれは床下の空調システムによって、要は人がいるところだけですね効率的に効果的に空調するようなシステムを計画しております。
- ・また、冬季、天井付近に暖かい空気が行ってしまうんですけども、この空気を下に持ってきて再利用するような空調や夏季は地中を通らせる空気によって安定的で一定な地中熱を利用するということで空調機器の低下を図る計画を考えております。
- ・今、ざっと説明をさせていただきましたけども 1 回目から 3 回目までの内容をまとめ、さらに今回構造計画と設備計画を加えさせていただきまして基本設計の概要ということで説明をさせていただきました。一応これで説明を終わらせていただきます。

(座長)

- ・はい、ありがとうございました。ただいまご説明いただいております内容と、今回初めて構造計画につきましてご説明いただきました。あわせてご質問等ありましたらご自由にお願ひします。

(委員)

- ・構造のところなんですけども、大きなスパンをとっているということなんですけど、何メートルなんですか。

(文化福祉棟設計業者)

- ・約15メートルです。

(委員)

- ・15メートル。高さは？

(文化福祉棟設計業者)

- ・ここは今階高を4.5メートルで設定しています。

(委員)

- ・1階と2階は違う？

(文化福祉棟設計業者)

- ・2階は違います。2階につきましては天井高が約2層分ありますので天井につきましては7メートルぐらい。

(委員)

- ・15メートル…。ついでにここ一応鉄骨コンクリートですか。

(文化福祉棟設計業者)

- ・S造になって鉄骨で梁を飛ばすようなスパンの方になってきます。ただ、南と西につきましてはRC造の関係を使ってそこに鉄骨をあててという工事になります。

(委員)

- ・鉄骨を使っているから、スパンが取れるということですか。

(文化福祉棟設計業者)

- ・そうですね、はい。

(委員)

- ・耐震性能、基準法で定めている「建物の耐力1.25倍」というのは我々普通一般で聞く耐震ですね、大体どのくらいのものまではという…。

(文化福祉棟設計業者)

- ・これもですね、はっきりなかなか答えられないものがあるんですけども、一応こういう1.25倍以上ということで謳われているのは「震度6強」ではまあ、大丈夫。建物自身は、地震が来てもそこまでは大丈夫です。

(委員)

- ・それは震度？

(文化福祉棟設計業者)

- ・「震度6強」です。ただ、その内部につきましては、例えば、書架が倒れたりとい

うことはもうちょっとそこは考えていかないといけないと思います。要は人命に影響がないということです。

(委員)

- ・設備計画なんですけども、発電という非常に省エネの観点から大事なことだと思うんですけども、太陽光発電設備が設置をされるということなんですが、どのくらいの発電量が予想されるんですか。

(文化福祉棟設計業者)

- ・今、実際に取り入れていただくのは10キロワットぐらいになります。10キロワットぐらいなので普通のご家庭、マンションで言いますと2戸か3戸ぐらいの電気ぐらいはまかなえると。

(委員)

- ・非常に沢山取れないというのは、所謂もっと広くできないっていうのは構造の問題かコストの問題か…。

(文化福祉棟設計業者)

- ・構造上の問題ではなくて、やはり上の設備機械の置き場との取り合いとですね、一番大きくは下の明かりですね。

(委員)

- ・あと、地中熱をとるっていうものもこれも広がらない。2か所ぐらいですね。

(文化福祉棟設計業者)

- ・基本的にはクールトレンチと書いてある部分、地下のピットに対してとっているんで、要はそのためにピットをつくるんじゃなくて配管のメリットを利用してつくっていくというところで、そこをうまく利用しているという形です。基本的には大きくはとらずに今既存であるところを空気が抜けるような形で考えています。

(委員)

- ・環境建築の話でよく聞く話があるけど、非常にコストがかかって何年かけてもペイができない。で結果、イメージとしてはそういうの（太陽光発電等）をつけているというのはイメージ的な効果があるけど実際に機能としてはどのくらいかなというところで、ある程度のパフォーマンスっていうのは見ておいたほうがいいかなと思います。特に公共施設になってくると。まあ逆に公共施設だからイメージにお金を投資してもいいかもしれないけど、そこら辺を実際役に立つ、あるいは実際、逆に言うと高くても教育効果があってそういう機能が見えるというような形で、例えば、よく最近今どのくらいの電気が生産されているとか、そういうところで使うのはいいけど、実際これの機能で役に立つものっていうのは少ないんじゃないかなと思うんですけどね。ある程度、だから教育効果はあるかもしれない。そういう意味でいろんなパターンのものを入れたほうがいいかもしれない。

(文化福祉棟設計業者)

- ・今お話いただいたようにここで発電された電力量とかそういう物はパネルで何処

かに出るような形にはしたいと思っています。

(委員)

- ・北側の駐車場の話なんですけど、全体と駅前通りと広場なんですけど、今年は特に雪が沢山降ったんですけどね、近年降らなくなったんで、といいつつもやはりドカ雪がある地域でもありますので、雪対策は何か考えられているのですか。駐車場のほうはどうとでもなると思うんですけど…。

(文化福祉棟設計業者)

- ・基本的には融雪とかも計画の中ではやっていきたいと思いますということになっていまして、具体的にはどうしようというのはすみません、これからです。ただ、おっしゃっていただいたように今年の状況を見てみますと「非常に必要ですよ」というところは私どもも思っております。

(委員)

- ・融雪溝で流せる所でも入れられる所でもあればいいんでしょうけど、人力でやられてもなかなかうっかりね、処理しないといけないというのがありますので。

(座長)

- ・他に無いでしょうか。よろしいでしょうか。それでは他に無い様でございますので、続いて、「(2) 産業支援棟の内容について」をお願いします。

(産業支援棟設計業者)

- ・それでは産業支援棟の設計を担当させていただいております。よろしくお願いします。

※紙資料なし、プロジェクターで投影された画面を見ながらの説明。

- ・現在産業支援棟の計画につきましては、建設の工期との関係で最終、建物は文化福祉棟と最後の完成の時期を合わせると考えますと半年近い差ができて、産業支援棟の方は半年ほど遅れて工事等がスタートする形になる。工期が短くなりますので規模との関係でそういう様になりまして。今まだ、文化福祉棟の計画をまとめられているほどの計画がまとまっている段階ではありません。敷地といたしまして、こちらの部分を敷地とさせていただいておりますので、今その中で2案の検討をしていただいている状態であります。
- ・1案が「A案」という形で、ここにほぼ正方形という形で産業支援棟を作らせてきまして北側に駐車場を設けて、ここ（敷地東側に）に産業支援棟用の乗入れ口ができるということは承知しておりますので、1案はこういう形の案を作らせていただいております。
- ・もう1案が「B案」という形でこういうちょっとL字型の形になりまして、駐車場が東側の駐車場になるという案の2案作らせていただいております。
- ・基本的には、こちらの南の面を揃えまして、ここに共通で底が付きましますのでこちらの方の外構、外観のイメージは先ほど文化福祉棟でご説明をされましたが、縦

のラインを協調したような形のデザインにして、統一感を持たせた建物にするということで計画をしております。ただ、こちら西側の面等に関しましては、まだ未美装でございます。基本的には地元の建物でございますのでコストのほうを重視しながらのデザインをしていきたいと今のところは考えております。

- ・「A案」「B案」それぞれのご説明は設計担当のほうから中身の方を説明させていただきたいと思います。

(産業支援棟設計業者 設計担当者)

- ・平面計画のご説明をさせていただきます。基本的に「A案」「B案」とも鉄骨造で2階建てを想定しております。1階は企画の総合センターということでございます。2階部分は商工会議所のほうが入る、というような計画で進んでおります。
- ・大まかな平面計画なんですが、これも「A案」「B案」共通なんですが、1階に多目的の会議室を西側に持ちまして玄関を南側に持つ。その並行に諸室を設けているということで考えております。これ「A案」「B案」とも一緒でして、間口が30メートルというのも「A案」「B案」同じ計画で進んでおります。
- ・「A案」の1階なんですが、産業創造センターの諸室等がありますが、今のところ未確定な部分もありまして、今現時点で入居団体ですね、目下依頼している状況でして、今時点でこれが入るだろうというところの想定で計画をさせていただいています。先ほど申しましたけども事務室がありまして、この外壁に並べさせていただいているのは入居予定の諸室を作らせていただいている。ただ、この平面を見ていただくと分かるんですけど、一応配置のほうで説明をさせていただきましたけども、正方形に近い形ですのでどうしても、諸室がいっぱいあって、取りきれない部分がこの中のあたりに。相談室とかですね、この辺りにもってござるを得ない状況。ここは今自然採光は取れていない。あとは、これに階段とエレベーターを足していただいて2階へ。
- ・2階に関しては、階段またはエレベーターのホールの隣に事務所がありまして、あと商工会議所の必要諸室の居室を外壁に接したところに配している。あと、倉庫、更衣室など採光がそんなに必要でないところに配置。
- ・あと2階に関しては空調とか設備機器の室外機の置き場という所で屋上のエリアを使わせていただいてここに置くというような計画で進んでいます。
- ・「B案」のほうですが、ここのホール、事務室関係の配置的には「A案」「B案」同じ。「B案」のほうが南北にちょっと長い建物にさせていただいています。配置としましては一応必要諸室、居室ですね、すべて自然採光が取れるような配置計画となっています。ここが「A案」と「B案」の違うところでございます。
- ・それから2階に関してもすべて諸室に関しては外壁に面して、自然採光はとれる計画になっております。これも「A案」「B案」共通なんですが、ここが一応屋上設備スペースになっておりまして室外機を置かせていただくということで計画をさせていただいております。
- ・以上が産業支援棟の平面計画になっております。以上でございます。

(座長)

- ・はい、ありがとうございます。ただいま産業支援棟設計業者から産業支援棟の説明をいただきました。今回初めてということもありますのでご質問等あると思います。どうぞご自由をお願いします。

(委員)

- ・「A案」も「B案」も一つの階段というのはどこからはじまっているのか、外側ですか。

(産業支援棟設計業者)

- ・こちらのこの階段ということですか。2階の階段ということですか。

(委員)

- ・30×30 近くですよ。利用人数はちょっとわからないですけど、今（建物の）中に1個しか階段がないですよ。利用人数と何か緊急時の場合とか、2つ目の階段ですと外に行かないと行けないというものは何か…。

(産業支援棟設計業者)

- ・そうですね、基本的に建築基準法にのっとって避難に関しても当然確保させていただいております。実際の使用人数がですね、人員があまり無いということで。

(委員)

- ・あまり無い…。

(産業支援棟設計業者)

- ・2階に関しましては今も商工会議所さんが入っておられますが、団体さんが何か所か入られる形になっておりまして、この外部階段というのがその中でも夜間とかに商工会議所さんが閉まっている状態のときに利用したいというところもありますので、ここの「A案」でありましたら、ここのところで区画できたらという形にして休日でもこちらの階段から利用できる部屋が何部屋か確保されているということで、団体さんの用途に合わせてこの階段を利用していただけたらということも兼ねてこういう形にさせていただいております。

(委員)

- ・多目的室に入れる人数は何人ぐらい？

(産業支援棟設計業者)

- ・テーブルを置いた状態でのスクール形式で140名。

(委員)

- ・会議室とかに線が入っていますが、細かくできる感じですか？

(産業支援棟設計業者)

- ・これですね、可動間仕切りで小さく使っていただけますし、全部をあけると大会議室になる。

(委員)

- ・私ちょっと勘違いしていたんですけど、この産業棟と文化棟をつなぐ入口はこれという駅前通りから入っていく南側からの入口しかないわけですよ。例えば、

文化棟で活動しておられる人が産業棟の多目的ホールで何か交流をするときには一旦文化棟から出て、そして産業棟から入るという運用しかないわけですかね。

(産業支援棟設計業者)

- ・建築基準法上、繋げることが非常に難しいことが検討の結果、そういうことになりましたので、こちら（産業支援棟）とこちら（文化福祉棟）の入口を庇でつなぐような形で直接建物同士を一体にするのではなく、移動をできるだけ容認していただける工夫をすることで別棟としてあつかわせていただくことになっております。そして、またこれは検討の段階ですけどもこちら（北側）の裏の方も産業支援棟の入口がありますので、こちらでもできれば繋ぎたいということで今検討を進めているところでございます。

(委員)

- ・もう一点よろしいか、産業支援棟の方の駐車場が8台ぐらいの台数だと思うのですが、ここも基本的に考えられる駐車場はあくまでも産業支援棟に来られる人の駐車場ということでとらえてよろしいですか。

(委員)

- ・8台の駐車場ですけども2案あるんですけども、今の商工会議所を見てもらったらわかりますように入口入って正面に大体お客様用とか、VIP という言い方はおかしいけども、そういう方に停めていただくという基本の考え方でいる訳です。ですから今の8台には基本的にはあの出入口から8台ぐらいは商工会議所のVIP という言い方はおかしいですけども、ちょっとそういう方たちに停めていただけるような8台という感覚で、一般の商工会議所の会員が入るということになると空いていけばいいんですけども、そうでない場合は北側の駐車場を利用してもらおうということになる訳です。だからその点で言えばあの格好、基本的に言えば「A案」というのは北からということがあるんですね。丁度正方形ですから。あとから産業支援棟設計業者さんから「B案」の話もあると思いますが、これは私が言うのはどうかと思うのですが、「B案」は駐車場があそこ（建物東側）になっている。そうすると丁度東から会議所の通行できるところからなってきます、その方はすんなりと入っていただけると。そして、南に入口があると同時に東にもサブの出入口を作ることができると。そうするとスムーズにお客様に来ていただいたときにあそこに入っていただける。ということであとは8台しか停まりませんから北側の駐車場を皆さんにご利用いただくというような考え方です。だからL型になっているのと正方形の違いは、まずここに大きな点があるわけですね。それともう一つ大きいのは、東側の道路がこの間から何度と無く説明がありましたように13メートル道路になるんですね。13.5ですか。道路が10メートルの歩道が3.5メートル作るんです。この東側に。そうすると東側がかなり景観的にも東から見られた場合の状況も非常に建物の状況がいい。だからこのLにした方が非常に全体的な建物のイメージがいいんじゃないか。あれを正方形にしてしまうと壁とは言いませんけど、東側がほとんどふさがってしまうと。そういうこと

になったときに外観上建物全体のデザインを考えたときに東から見ていただいても「なんともいい建物ができたなあ」と思っていただけではないかと。若干コストは高くつくんですけども、まあ、産業支援棟設計業者さんから提案をいただいてB棟、正方形は正方形ですけども「A案」と「B案」の若干L型ということで変化をもたらした形で持ってきたということです。

(委員)

- ・文化棟と産業支援棟を結ぶというか、間の道ありますよね。あそこは実際どのような感じになるのでしょうか。ビルとビルの間を歩くという感じになるのでしょうか。

(産業支援棟設計業者)

- ・今、ここが3.5メートル空いておりますので、一応イベント等がこちら（前庭）で何かされるときに搬入の自動車等が入る程度の通路という形で、そんなにビルとビルの隙間というほど狭くはない。

(委員)

- ・3.5というと、その…。

(委員)

- ・2間^{けん}はあるということですね。

(産業支援棟設計業者)

- ・このテーブル2個分の丁度ぐらい。

(委員)

- ・さっき話が出ましたように本当はエントランスで産業棟と文化棟を繋いでみたかったんですけどもこれが、諸々の事情でどうしてもできないと。もちろんコストの面もありますけど、色々な制度上の問題もあります。だからこれはあえて離さなければならぬと。ということと、借地権の問題もありまして、要するに産業棟は土地を一角をお借りする、という色々なことが絡んできて、本当は一緒にしたかったんですけども、すべて色々難しい件が多々ございまして、そういう点で非常にこういうふうにしないとならなかったと。

(委員)

- ・もう一つよろしいか、戻ってしまうので申し訳ないんですけど、資料1に書いてあります、立面計画のところの一つの完成計画図がカラーで描いてますよね。これで行くと文化棟と産業支援棟の駅前通りから見ている部分についてはおおむね上層部も一体感があるようには見えるんですけども、実際には今言われた3.5メートルは切れているということですね。上層部も。

(両設計業者)

- ・そうです。

(委員)

- ・だから、そこら辺を軒でうまくカバーしながら文化棟と産業棟とを一体感をもたらす。そこが味噌ですよ。

(委員)

- ・高さはどうなりますか？

(産業支援棟設計業者)

- ・一番上の高さということですか。

(委員)

- ・はい。

(産業支援棟設計業者)

- ・揃えられるように配慮をいただいておりますので、大体同じ高さで建物の高さを揃えられると思っております。

(委員)

- ・ということは1階が高い。

(産業支援棟設計業者)

- ・1階も（文化福祉棟と）同じく4.5メートル。

(委員)

- ・2階は？

(産業支援棟設計業者)

- ・2階も（文化福祉棟と）同じ。
- ・これはまだ発表されていないときに作らせていただいたパース案になりますけど、天井のこちら（西側）が高くなっている部分が傾斜しているところに当たりますので、こちら（東側）はちょっと低めに作っていただいておりますので、ここと合わせてくる形でほぼ同じ高さで行くということで、1階にホールがある関係上、こちらもある程度天井高を高くしないといけませんので、そんなにロス無くこちらと同じ高さに揃えてこられるのかなと思っていますところでは。

(委員)

- ・2階は事務所ですよ。

(産業支援棟設計業者)

- ・そうです。

(委員)

- ・そんなに高い天井が必要？

(産業支援棟設計業者)

- ・必要で言えば、もう少し下げるとは可能だとは思いますが、あんまりガサッと下げると一体感というのが結構損なわれますので…。

(委員)

- ・一体感をとるために…

(産業支援棟設計業者)

- ・ある程度は、そんなに無駄と言うほどのものではないので、合わせる方を優先させていただければと。

(委員)

- ・産業支援棟を見ていただけると文化福祉棟設計業者さんも産業支援棟設計業者さんもやってもらった、これちょっとL字型になっている。上から見てもらえたらわかるように。これ正方形じゃないんですよ。こういう形のデザインに一応L字の場合はなるという。こういうことです。あれが正方形の場合でしたらあれまともに正方形になるという。これは上から見た状況ですけども、こういうようになるというふうに思っていただけたらいいと思います。

(委員)

- ・先ほど太陽光発電の話がありましたよね。これ、何か上は考えられているのですか？

(産業支援棟設計業者)

- ・今のところは特にこういった議論にまで至っていないというか、今のところはそういう想定はしておりません。

(委員)

- ・中の設備、機械は、これからなんです。今、我々の中ではL型にするか「B案」か「A案」かで今話がまとまっていない。これが来月の4日、建設委員会で全員寄せて「A案」と「B案」、要するに四角にするかLにするか4月の4日に決定します。もうそこから建物の形が決まってきます。そのあとに設備とかの話に入りますので、まだ具体的なそこまで入っていないというのが現状なんです。ただ我々にしてみたら、変な言い方ですけどやっぱりできるだけランニングコストを少なくしたい。ということで電気とかいろんなことを含めて考えていきたいので、今ここでこういうふうな設備になるということとはちょっと申しあげにくいという現状でないかと思います。

(委員)

- ・L字型にした場合、北側の駐車場から来るときの動線が、入口が東側にしかないのですが、その場合北側の文化棟との繋ぎは、庇はどこまで繋がっていくのですか。

(産業支援棟設計業者)

- ・一応ここ、Lまで持っていきたいというのが当然産業支援棟側では要望でもありますし希望でもありますので、一応その方向で検討させていただくときには駐車場の所のちょっと配置等もありますけれども、そのあたりはできるだけ庇をつなげたいなということは思っております。

(委員)

- ・駐車場つけるのになぜ庇をつけるっていうこと…。

(産業支援棟設計業者)

- ・こちら。まだ今のところは、決まっております。

(委員)

- ・色とか材料もなるべく近いものを？

(産業支援棟設計業者)

- ・コスト的にかなりこちらは抑えなければならない部分もありますので、材料をまったく同じものにすることは難しいと思うんですけど、色とか素材感をできるだけ近いものを選ぶような形で統一感のある建物にしていきたいというふうには思っています。

(委員)

- ・「A案」と「B案」の今、形の違いは出てきたんですけど、機能も含めて決定的なそれぞれのメリット、デメリットは。どういう違いがあるのか。

(産業支援棟設計業者)

- ・一番最初にご指示をいただきましたのは、基本的には建物をシンプルな形にしてコストをできるだけ少しでも抑えられるようにということでご指示をいただきましたので、まず「A案」を作らせていただきました。それを作っていく中で先ほども少しありましたけども1階の部分に採光が特に必要ではない部屋なんですけども外側に面しない部分ができますので、どうしても暗い部分が少なからず出てしまうところがこの案の欠点でございまして、その部分を何とかカバーできないかということで、少し縦にのばさしていただいて「B案」、L字型を作らせていただきました。そういう意味では「B案」は全諸室1階壁面に面しておりますので自然採光がすべて取れるという点では明るい建物になるのではないかなと思っています。それとこちら(A案)は文化福祉棟もそうなんですけども、北側に玄関ができますので風除は設けておりますけども、冬季、北側はやっぱり風が吹き付けますので、東のほうが出入はしやすいのではないかなと思っていますけれども。一長一短という所でございまして、ご検討をいただいているところでございます。

(委員)

- ・事務所の上の機械室という所に窓がある？

(産業支援棟設計業者)

- ・そうですね、ここは空調の室外機等が少し載る所に窓が来てしまう。

(委員)

- ・「B案」もここは同じ？

(産業支援棟設計業者)

- ・「B案」もこの部分に関しては同じ。

(委員)

- ・この場でお聞きしていいのかどうかかわからないのですが、今「A案」と「B案」ということで簡単ではありますがご説明させていただきました。今まで産業棟の説明がされてなかったということですが、簡単な説明できていますけど参考に皆さんのご意見をお聞きしたいと思うんですけども、今言いまし

たこの「A案」と正方形ですね、「B案」のL型。「A案」の場合は駐車場が商工会議所は北側。「B案」は東側と一応こういうご説明をしたんですけど、「A案」と「B案」。皆さん方客観的にみてどちらがいいと思いますか？「A案」の方、悪いんですけど手を上げてもらえますか？「B案」の方は？

－B案多数－

- ・ありがとうございます。ぜひとも4日の会議には参考にさせていただこうと思っておりますので、ご協力ありがとうございました。

(委員)

- ・別に高さが違っていてもいいのではないかなと思うのですが。外から見て高さが、別に違ってても。面^{つら}があっていて、色とか素材があっていたら、結局（建物の間に）空間もあるのだし、ちょっとぐらい下がっていても。中に入ったときにちゃんと構造がなってたら、暖房とか座ったときに寒いとか女性の人はあるかと思うんですけど。

(産業支援棟設計業者)

- ・天井高は抑えて、天井の上が高くなるということで。

(委員)

- ・中は空間ということ？

(産業支援棟設計業者)

- ・そうです。だからそこは無駄といえば無駄なんですけども、どちらを採るか、まだ決定しているわけではないんですけども、現状としては少し余裕があるということは悪いことではないですし、高さを揃えることをした方が一体的には見えるかなということで。やっぱりどうしてもこちら（文化福祉棟）の方がボリュームが元々がありますので、そこをかなり下げてくるとこちらがものすごく小さく見える形になってきてしまうので、できれば揃えたほうがいいかなと思いますね。

(委員)

- ・カッコよく言ったらスカイラインですね。揃えることでスカイラインがスカッと。綺麗に見えるのは空とのバランスで綺麗にラインが入るので、綺麗にバッチと見えるんですけど、そういう意味で言うと下から見てもスカイラインが見えること、景観上のことになるのだろうなと。

(委員)

- ・先ほどの「A案」か「B案」という形の意見しか出てこなくて多分、そういう機能であったり環境への配慮であったりとか採光を含めてとか、そういうことで「C案」もあるんじゃないかなと思える話なんですよ。「A」でも「B」でもないなというところも自分の中であって、なんかLかLじゃないかと、何でそんなにLにこだわるのかなと、ちょっと微妙にわからない。駐車場との関係だけですよ。でも建物はそれだけじゃなくて、中をどう使うとかその機能、滞在している間

のその環境をどういうふうに考えるかというところを思えば、例えば、文化棟の方じゃないけど吹き抜けということもコストとして小さい中庭を使った、そのあたり自然の風通しを良くする事もできると思うし、何かいろんなものがあるんじゃないかと思うんですよね。例えば「A案」の場合はやっぱり中のところで採光が悪いから暗くなる部屋がある。それだったらそれをどう工夫するかというところの対比じゃなくて「A」か「B」かといったら、「A」でも「B」でもどっちでもいいんじゃないかなと。むしろもっと、先ほどメリットとデメリットを聞いたのはそういうところで、何で、「A」から「Aダッシュ」が無いのかなということなんですよね。「A」に、もしデメリットがあるのならそれを改善した「Aダッシュ」というのが出ないのかなと。「B」も何かちょっとデメリットがあるのなら「Bダッシュ」が無いのかなというところで、やっぱりある程度多分ね沢山ね可能性がまだこういう団体なので出せるんじゃないかなと。多分、単純に決めちゃうとあれなんですけど、建築的にはもっと面白くできるのと、暗いときはどういうふうにちゃんと調整していくかというのはもっとコスト的には抑えるものもあるかもしれないなというイメージですね。

(委員)

- ・ よろしいか、決して産業支援棟がどうのこうのじゃなくてね。今回このエリアに「文化」と「産業」の建物を融合して作ろうという一番最初の基本的な原点からどうしても性質上2つに別れてしまったというのはいがめないところもあるので、すけども、やはりあの、先ほどから言っている（建物の）間の3.5メートルですね、なんかそこね、ほんとに空間だけでいいのかなと。せめて庇みたいなものがお互いから出ていて、一体感を醸し出すことのほうが大事なような気がしてなんのです。でないと、同じエリアに二つのものを作る意味合いが無くなってしまいうような気がして。繋ぐことは建築上できないのだと思うのですが、表参道みたいな第二コースっていうのかわかりませんが、ああいった形で両方ともに棟がうまくやるといいかなという気がするんですけど、専門で無いので申し訳ない。そういうことは可能なんですかね。

(産業支援棟設計業者)

- ・ あの、不可能ではないとは思いますが色々な利用の用途であったりとか採光の部分の問題とか、元々がここは狭いので光がなかなかこちらの部屋にとりにくいということもありますので、そういったところも含めて色々検討はしなくてはいけない。「できない」ということではないと。

(座長)

- ・ 図面素人なんですけども、(多目的室の外の)1階にホールの入口がありますよね、図面では。外からこれは入れるということですかね。

(産業支援棟設計業者)

- ・ これは機材とか何かを入れたりするときに一般的に人が出入するというものではなく、どちらかといえば機材等を搬入するときに使う出入口ということです。

(座長)

- ・もし出入口だったら底でもつけていただけると繋がっていける気がしたんですけども、機材搬入口でしたらそんなことはいえないですね。

(委員)

- ・あの産業棟のことじゃないんですけど、全体的な北側の駐車場ですね。80 何台ですか。その駐車場には、さっき雪の話がありましたけども融雪装置とかそういう物はどうなんですかね。

(事務局)

- ・一部はできるかもしれませんが、基本的には除雪体制で。

(委員)

- ・基本的には除雪体制ですか。

(事務局)

- ・水があまり無いので。

(委員)

- ・地下水の問題がありますよね。これはボーリングか何かされたんですか、全然それは無しで…。

(事務局)

- ・周辺の環境がありますので、なかなか井水は取りにくいというのがありますので。

(委員)

- ・やっぱり周辺の問題はありますので、(三菱)樹脂は多分、今(井戸水を)上げてないと思うんですよ、だから樹脂が汲み上げて無い分だけ地下水は結構あるかと思うんですけど。

(事務局)

- ・量はあると思います。

(委員)

- ・ただし、周辺自治会からの了解がなかなか得にくい部分があるのでどういうふうに考えておられるのかなと。

(事務局)

- ・今現状に井戸がありますので、その分は使わせていただきますけども。それ以上の利用ということになりますと…。

(委員)

- ・だけの融雪ということですね。大体どこら辺になるのでしょうか？

(事務局)

- ・ちょっとまだそこまでは…。

(委員)

- ・そこまでいっていないと。

(委員)

- ・(前回の資料) この図面 3 枚目ですか、いただいているんですけど、実は外構です、中の。文化福祉棟設計業者さんで外構をですね南と西と描いておられるんですけども、東側の外構は無いのですか。緑の部分の計画は無いのですか。

(文化福祉棟設計業者)

- ・まだ、(産業支援棟の) 建物自身が決まってないので、それで…。

(委員)

- ・まだそれを決めていないと。

(文化福祉棟設計業者)

- ・それに対するどういう外構にするかという…

(委員)

- ・それから産業支援棟設計業者さんと話をしながら文化福祉棟設計業者さんも提案をしていただけるということでよいのですか。

(事務局)

- ・あの、外構については建物の形とあわせた形がありますので、それを聞いてから…

(委員)

- ・それを聞いてからですか。はい、わかりました。

(事務局)

- ・周辺外構は考えます。

(委員)

- ・また、設計よろしくお願いします。

(座長)

- ・ほかよろしいでしょうか。
ー意見なしー

(座長)

- ・では他に無い様でございますので、次に「(3) これまでの推進会議の意見について」をお願いします。

(事務局)

- ・それでは資料の 2 として付けさせていただいております、第 1 回から第 3 回までの推進会議のまとめということで、当日いただいた意見とそれについてそのときお答えさせていただいた内容をまとめさせていただいておりますものをつけさせていただいております。全部読んでいくと時間がございませんので簡単にこの内容をご説明させていただきます。
- ・1 ページ 2 ページについては見ていただいたとおりです。3 ページ目に図書館に関しての内容を書かさせていただいております。4 ページ目には公民館の内容と社会福祉協議会の内容、多目的室に関しての内容を書かせていただいております。5 ページ目の一番下のところでございますが、部屋の多用途化ということでどの

ような形のもので使うということを書かせていただいております。6 ページ目には中央カウンターでの総合案内にご意見をいただいておりますのでそのことを書かせていただいておりますし、管理運営について書かせております。これに関して特に管理運営形態、6 ページから7 ページにかけてですが、運営形態のことや開館時間、休館日、イベントでの利用の方法とかご意見をいただいているということで、そのようなことになっています。8 ページ目には自由空間、フリースペースの広場も合わせてですが自由空間についてのご意見をいただいておりますのでまとめさせていただいております。9 ページ目には複合施設の魅力ということで複合施設の考え方、それについてどういうことで利用していけばよいかということで書かせていただいております。10 ページ目には産業支援棟のことを中心に書かせていただいておりますし、11 ページ目には駐車場と周辺道路、駐車場についても色々ご意見をいただいておりますので、そういうことも書かせていただいて、ここに記載させていただいております。最後の12 ページには観光バスの内容について書かせていただいております。簡単ではございますが、概略としてどういうことが書いてあるかということだけご説明させていただきました。あとは皆さん3回の中でご意見いただいた内容でございますのでその内容を書かせていただいております。それ以外のご意見がございましたらお聞かせいただければと思っているところでございます。以上でございます。

(座長)

- ・ただいま説明いただきましたけれども、1 回目から3 回目までの出ました意見がまとめられてございます。目を通しておられると思いますが何かここで更にご意見がございましたらお願いします。

(委員)

- ・色分けしているのは意味があるのですか。

(事務局)

- ・1 回目は青色、2 回目がオレンジ色、3 回目が黄色という形で色分けさせていただいております。

(座長)

- ・ここで出ております意見について設計業者としてご見解とかご意見とかありましたらお願いします。

(文化福祉棟設計業者)

- ・あの、1 回から3 回、特に2 回目3 回目の皆さんからいただきました内容につきましては今日、概要を説明させていただきましたけれども極力というか大体取り入れてプランニングはさせていただいたつもりでございます。ただ先ほどちょっと意見が無かったのであれなんですけど、喫茶とかカフェとかそれにつきましては文化福祉棟の方では一応自販機を持って対応するという事で考えさせていただきました。そこがちょっと気にはなったんですけども、事務局さんのほうから

飲食ができるエリアというものをちゃんと設定していただいておりますし、そういう意味では自由に皆さん使えるような空間にはなっている。ですから特にここで1回から3回までという中では設計側で言うのもの変なんですけども、とりあえず取り込める物は極力取り込めたと思っておりますので。ただ、これから実施設計に入っていきます。その中でもうちょっと「ここはこうしたら」というところは出てくると思いますので、それは取り入れてやっていきたいと思います。

(座長)

- ・ありがとうございます。産業支援棟設計業者さん何かここで意見出ていますけども、そのなかで何かぱっと言っていただけのものがございましたら…。

(産業支援棟設計業者)

- ・今はじめて見せていただきましたので、特にあの申しあげることはないです。

(座長)

- ・ほかいかがでしょうか。

(委員)

- ・どちらかという管理とかユーザーの使い方とかが多かったと思うので当然久米さんの設計に対する要求もあるでしょうけど、市役所としてはどういう対応を考えてくるのかなというのと、あといろんな意見に対してどう思われているのかというのと。

(事務局)

- ・あの、少し2回目のときに割とそういう意見をいただきましたので3回目のときでお示しさせていただきましたように休館日の持ち方、休館日でも開けるという体制も考えておりますので、それもあくまでも利用のいろんなご意見をこれから、特に利用者団体に当たりましてそういう利用の仕組みがあるということを私どもの方から仕掛けてまいります。若者の方がやっていただけるものもありますし、サークルの方がやっていただけるものもありますし、いろんな方に対して逆に1年近くございますので、開館までなら2年以上あります。それまでの間に出来る限り利用をしていただけるような形のものの土壌作りをさせていただいた上で開館日、開館時間等の拡大というのも考えさせていただきたいという形を思っているところでございます。それがどこまでできるかというのはまだ未知数でございますけども、その辺は皆さんのご指導をいただければと思っているところです。

(委員)

- ・今日、ちょっと早めに来てここら辺を歩かせていただいたんですけど、結構地元の産業もいっぱいあって、新しい複合施設との関係性というのがどうなるのかなと歩きながら思ったんですけど、京都で言う「都^{みやこ}メッセ」という所があって、「都メッセ」の中に伝統産業のコーナーとか常設展示じゃないけどそういうコーナーがあって、所謂場所そのものが何か接点みたいになっているんですけど、特にここと既存の地元の関係がどんな感じになるのかなと産業棟も含めて。もしそういう大きなアイデアがあれば今から1、2年後になんかございますか。例えば

カフェに展示コーナーができるとか、イベント時にまとまってここで何かやったりとか、そういうことがないのかなと思って。ちょっと見ていたら元気のあるところと元気がないところが結構極端にあって、元気がないところは本当に元気がないなというところもすごいあったりしてたんですけども、こういう施設ができることによって街全体が活性化することに繋がるだろうと想定できるんだけど、そういうイメージ作りとかあるいはそういう段階にはもう入っているんですかね。地元の産業との相談であったりとかあるいは、何か…。

(産業支援棟設計業者)

- ・産業創造センターの方にはこちらのホールを兼ねた所に産業の展示スペースを設けさせていただいておりまして、商工会議所の関連の企業さんもおられますいろいろな地元の業の展示ができるような形で考えているところです。

(委員)

- ・1階のビジネスサポート協議会という所でいろんな、産業支援棟設計業者さんからご説明がありましたように商品の展示とかいろんなワンストップで市民の方が利用していただける、要するにどちらかといえば湖北地域というのは非常に滋賀県の出先機関が少なくなっている。そういうものも一緒にビジネスサポート協議会にできるだけ入っていただいて市民の方にできるだけ多くそれを活用していただけるようなことを現在考えてすすめております。そういうことで今おっしゃったように長浜市全体に活力が出る場というまずやっぱり入れる部分というか、そういうことをこのビジネスサポート協議会でやっていこうというのが大体の趣旨なんです。1階のほうは。2階に大体商工会議所が入るといこうという形でさせていただいているのが現状です。

(委員)

- ・1階はいろんな事務所とかが入ることですか。

(委員)

- ・1階は、今いろんなところでうちの事務局のほうも専務をはじめ、みな動いてもらっているんですけども、ただ言いましたように湖北の方に今まで沢山あった県の出先機関とかいろんなものが少なくなってますので。まあ、何とか大学のサテライトを作るつもりをしているんです。それも結構大学の方も一生懸命、例えば、県立大学とか県内にも大学が沢山ありますので、横の連携を持っていただいてバイオ大学とか、そういうわけで大学のサテライトもできたらこの中につくりたいということをいろんな形で今進めていこうとして、実はやっているんです。それを別の方で一生懸命、動いてはいるので、まだ今のところは決定はしていませんけど、たちまち今、今日はじめて出ました、四角とかL型という問題ですけど、結構これで正副会頭会議でももう2ヶ月ぐらいかかっているんですよ。いろんな議論が出てまして。だから最終意見はこの4日で全部決めちゃおうということで今現在中に対しては色々と動きをやっています。

(委員)

- ・中をね、見せていただいたらもうちょっと、外観は別々でも、さっき言いました

ように高さが違ってても良いと言ったんですけど、結局建物を引っ付けられなくて、中も繋げられなくて、別々になっちゃっても、もうちょっと中を見たらもうちょっと一体感があるのかなと思って。もうちょっと行きやすい感じになるのかなと思ったんですけど、VIPの駐車場があるとか、ちょっと入りにくい感じが…。

(委員)

- ・VIPという言葉は悪いです。

(委員)

- ・ウエルカムな感じがほしいかな。

(委員)

- ・VIPという表現は、私の使い方が悪かったかもわかりませんが、商工会議所に用事で来られる方と、商工会議所の会員で来られる方では、現在議員さんだけでも70人いらっしゃるんで70名の議員の議員会議するときに8台しか停まりませんからあとは北側の駐車場を使ってもらわないといけないので、そういう意味で言い方が悪かったかもわかりませんが、入っていただいてずっとスムーズに入ってもらえるということのある意味の「お客様」という感覚できているんですけども。その点今おっしゃるように1階のビジネスサポート協議会のほうで今言われたようにできるだけその、文化棟とのつながり、それを何にするかというところさっき言いましたように大学のサテライトとかあるいはまだ決まってはいませんけども観光協会の出先機関を作るとか、そういうふうに皆さんが非常に活用していただけるようなそういう施設を作りたいということでこのビジネスサポート協議会を実は立ち上げた。だから、それが大体1階は主にそういう方たちの場所にもなるのではないかと。すると図書館行って、極端な言い方をするといろんな相談があるということで来ていただいたら、やっていただけるという場所にしたいと1階を。そういうことで立ち上げたということです、そういうふうにご理解いただけたらよいかなと思います。

(座長)

- ・他にございませんか。今日が最後でございますので、もっと言いたいことがあるとかないでしょうか。よろしいですか。

ー意見なしー

- ・無い様でございますので、「3 その他」に行きます。今後の事業スケジュールについて事務局から説明をお願いします。

(事務局)

- ・それでは、「その他」ということで事業スケジュールでございますが、ほぼ基本設計が文化福祉棟施設の方については終わっていますので、4月からは実施設計と詳細設計に入らせていただきまして、29年の秋ごろには全体計画をまとめまして予算を組みたてていきたいと考えています。そして、29年度の後半には建設工事に着手をできればと考えておりまして31年度、丸一年と何ヶ月かをかけまして、二年とは言いませんけど31年度には供用開始をしたいと思っております。

もう少しかかりますが、皆さんに愛される施設ということで考えております。以上が今後のスケジュールでございます。

(座長)

- ・はい、今後のスケジュールについて何かご質問ご意見はありませんか。
－意見なし－
- ・よろしいでしょうか、それでは以上を持ちまして本日予定しておりました内容はすべて終了しました。ありがとうございました。都合、今年の12月から4回の会議をやっていただきました。いろんなご意見を頂戴いたしました。建設的なご意見もございました。こういったご意見をですね是非反映をしていただきまして少しでも市民の方々が気楽に立ち寄れるような、あるいは長浜の活性化に繋がるような、そういうような施設になりますように一つご協力をお願いしたいと思っております。参加者の皆さん、どうもありがとうございました。これよりは事務局で進行をお願いします。

(事務局)

- ・座長様、どうもありがとうございました。それでは事務局を代表いたしまして市民協働部長から一言お礼のあいさつを申し上げます。

(市民協働部長)

- ・昨年12月、年末から短い期間4回にわたりまして熱心にこの場を作っていただきまして本当にありがとうございました。この施設につきましては本庁舎が建設する頃から検討していこうということでもう5年以上経っているんですけど、この間、基本方針を作り基本構想をつくり整備計画を作りそしてこの度の基本設計という形でほぼ形が決まってきたというふうに思っています。この建物が中心市街地の中核的な必要な施設としてこれから皆様からいただいた意見をもとに整備をしていきたいと思っております。また、今議会中なんですけど3月議会でもご質問をいただきまして、図書館のご質問をいただいたんですけども、その中でも「市としては、図書館等そこにある施設の各機能をボーダーレスで繋いで、本と人と人が自由に行きかう全国的にもあまり例のない新しい施設として整備していきたい」と答えさせていただいております。そういった形で、先ほどありましたとおり詳細設計しまして、具体的な建設になって31年度中にオープンしていきたいという形で進めますけども、まだまだ広く皆さんに利用していただくために運営方法とか管理方法とか活用方法とかも引続き検討していきたいと思っておりますのでまた皆さんのご支援を賜りますようよろしくお願いします。どうもありがとうございました。

(事務局)

- ・それではこれを持ちまして第4回長浜市産業文化交流拠点整備推進会議を終了いたします。4回にわたる会議の中で貴重なご意見をいただきまして誠にありがとうございました。それではお気をつけてお帰りください。ありがとうございました。
－終了－